

防災計画を問う

高橋 征夫 議員（武の会）

町長 機会を捉え、啓発していく



質問 毎日報道される、3・11の超大型地震に伴う巨大津波の被害や、福島原発事故から2か月経過するも、復興の声、あるいは収束の兆しがいまだに見えない。今回の事故から初動体制の重要性を再認識した。町では2010年3月、地域防災計画を発行した。そこで次の2点について、町長の所見を伺う。

問① 災害時自治体は避難・誘導が最大任務と考えるが。

町長 23年4月から開始した全国瞬時警報システムで、緊急地震速報などが防災無線で提供される。災害発生時、まず自らの命を守るのは自分自身であり、地域である。日頃から各家庭や地域での十分な訓練が、初動体制につながる。

問② 有事の諸計画は、

町長 19年に瑞穂町国民保護計画を策定した。自衛隊、警察および消防署と連携し、的確かつ迅速に避難者の救護、災害への対処などを実施する。また、自主防災組織連絡協議会や防災訓練の機会をとらえて啓発していく。



19年に作成された瑞穂町国民保護計画と、22年に作成された瑞穂町地域防災計画

町の震災対策を問う

小川 龍美 議員（公明党）

町長 耐震診断・改修を促進する施策に着手



質問 首都直下型地震や東海地震が懸念されている。震災に備え万全の対策を講じるべきと考え、次の3点について伺う。

問① 役場北側の消防署直下を立川断層が通っている。町に所在する重要な施設を安全な場所に移動すべきと考えるが。

町長 マグニチュード7・4の地震が発生した場合、瑞穂町を含めた広域が強い地震となる。公共施設を町のどこに移転しても同様の状況であり、最大の備えは、耐震性を強化することである。

問② 町施設や個人住宅の耐震診断・耐震改修の早期促進を。

町長 23年度から、耐震診断および耐震改修を促進する施策に着手し、今後の取り組みを具体的な計画にまとめる。

問③ 災害時要援護者の救援体制の確立を。

町長 既に災害時要援護者台帳を作成し、民生児童委員、消防署、自主防災組織などが共有している。引き続き正確な情報の更新に努める。



立川断層の上に建っている福生消防署瑞穂出張所

保育料の見直しについて



大坪 国広 議員（日本共産党）

町長 現時点では見直す考えはない

難しいが、高いという状況ではない。

質問 子どもは、未来の主人公であり社会の希望である。しかし、保育料が高く負担が大変など、保育料の軽減を求める声は切実である。そこで、次の4点について所見を伺う

問① 町の保育料の決定基準と実態は。

町長 保育料は所得に応じて決定される。積算基準は3歳未満と以上に分けられ、0円から上限49,000円まで16階層に設定している。2人目は半額、3人目は10分の1にしている。減額措置も行っている。

問② 保育料の収納状況は。

町長 21年度実績で99.5%の収納率。

問③ 西多摩地域内の他市町村と比べて、保育料が高いと思うが。

町長 積算基準は市町村により異なり、比較するのは

難しいが、高いという状況ではない。

問④ 少子化対策のためにも保育料の見直しをすべきと思うが。

町長 町の認可保育園に関する経費総額に対する保育料の割合は、11.7%であり、現時点では見直す考えはない。

こんな質問もありました

教育にかかる保護者負担の軽減について。

町長 22年度、中学の修学旅行補助を3000円増額した。教材費は保護者負担が適切と考える。

長岡地区内の道路3路線について

小野 芳久 議員

町長 歩行者の安全性を配慮し対応する



第二小学校横の町道35号線

質問 二小横の町道35号線は路面が部分補修のため荒れており、大雨の時に大きな水たまりができ、車による雨水の跳ねなど児童の通学に影響を及ぼしている。また、愛宕神社横の町道11号線は、側溝止めがなく非常に危険であり、早急な改善が必要である。

さらに、国道16号は、信号機付近以外の道路照明が消されている。通行者には防犯上非常に危険であり、点灯を国に要請する必要があるが町長の所見を伺う。

町長 町道35号線は、道路パトロールの実施、近隣住民からの情報、教育委員会や学校関係者の意見を聴いて、維

持補修に努めている。11号線は、朝夕の交通量が増大しているため、歩行者の安全性を高めるため道路側溝の対策を講じる。

国道16号の照明灯は、国の節電の方針に基づき、交差点部を除き一部消灯している。危険と判断される場合には、国道や都道の点灯を要請し、町道は点灯するよう配慮する。



元狭山保育園の七夕集会の様子